

Society5.0時代の低炭素資源循環マネジメントセミナー ～熱の最適利用と企業評価情報活用の実践事例～

2021.1.5 情報技術活用研究部会

1. 開催趣旨

低炭素、そして脱炭素社会に移行するには、エネルギーマネジメントと資源マネジメントの両視点からのアプローチが求められる。そこで、本セミナーでは、両マネジメントのご経験のある方を講師にお迎えして、各分野での知見を提供して頂くとともに、Society5.0 時代において低炭素で循環型の社会はどのように構築され得るのかについて、みなさんが考えるきっかけとなることを企図するものである。

2. 開催概要

- 共 催：廃棄物処理・リサイクルIoT導入促進協議会が主催する、
「令和2年度第3回廃棄物処理・リサイクル IoTビジネスセミナー」と共催
- 日 時：2021年2月4日（木）14:00～16:30
- 形 式：オンラインセミナー
- 定 員：100人
- 申 込：以下の申込みフォームからお申し込みください。
<https://gicz.jp/open/28555758>
(IoT導入促進協議会の会員は、別途ご連絡をしております協議会会員用の申込フォームからお申し込みください)
- 参加費：廃棄物処理・リサイクルIoT導入促進協議会参加機関：無料
廃棄物資源循環学会員：3,000円、一般参加者：5,000円、学生：無料
領収証が必要な方は、下記4. に示す連絡先までご連絡ください。

3. プログラム

今回は、エネルギーマネジメントに焦点を当てる。資源利用の量×質の効率を最大化する共生的利用を進めるためには、ICT技術を導入して新たな情報共有基盤を構築することが課題である。それらのうち、工場間の熱利用解析と企業評価に関する先行事例にスポットをあてて、課題に対する考えを深めたい。

1) 開会挨拶と話題提供（講演14:00～14:15 15分間）

- 情報技術活用研究部会・会長 藤井 実
- ・廃棄物処理・リサイクルIoT導入促進協議会 会長
 - ・国立研究開発法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター
環境社会イノベーション研究室 室長
- 表題：焼却等からの熱（蒸気）の製造工場での利用に関する施設連携推進に関する情報共有プラットフォーム
- 趣旨：工業における企業間エネルギーシェアは、その考え方の普及、シミュレーションによるコストバランス、需給バランス、調整方法の検討、情報連携の際の企業間の秘密保持、環境対策に関する企業評価などの要素が必要である。効率的な廃棄物エネルギーの利用と、それを支える情報共有の在り方や課題について、概略を説明する。

2) セミナー1（講演14:15～15:05 45分間、質疑応答15:05～15:20 15分間）

- 表題：熱利用解析技術（ピンチテクノロジー）を用いた工場の省エネルギー検討
～個別最適からコンビナート全体の最適へ
- 講師：松田 一夫様
- ・一般財団法人エネルギー総合工学研究所

趣旨：千葉工業団地などの先行事例（公表可能なもの）を例に、熱利用解析の概念、基本理論から、ピンチポイントの把握と現場での実装について実例を伺う。現在時点のIT技術の対応可能性、協力構築の在り方を考えるきっかけとしたい。

休憩（15:20～15:35 10分間）

3) セミナー2（講演15:35～16:05 45分間、質疑応答16:05～16:25 15分間）

表題：サプライヤーエシカル情報共有プラットフォームの構築経緯と方向性

講師：和田 浩揮様

・特定非営利活動法人経済人コー円卓会議日本委員会

趣旨：企業評価とその評価結果の活用は、情報共有や資源循環の取り組み推進に重要となっている。ビジネスモデル、構築の歴史、その精神や対象領域についてご解説いただく。各種資源循環実態データのプラットフォームにおける企業評価の在り方に関する検討を深める契機としたい。

4) 閉会挨拶（16:25～16:30）

4. 連絡先等

廃棄物資源循環学会 情報技術活用研究部会 松岡浩史（資源循環ネットワーク）

jsmcwm_ilot@trace-recycle.or.jp